

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月14日			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8279
担当部課名	学校教育部	教職員	課	
事務事業名	教職員貸与被服購入費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	63以前 年度
施策名	第 施策	

## 2 実施根拠及び関連法令等

--

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
小学校及び中学校の県費負担教職員に対し、被服を貸与することによって、教職員の福利厚生の充実を図ることを目的とする。また、防災服については小・中学校が地域防災計画上の避難所の機能を併せ持つことから管理職となる新任の校長・教頭に貸与するものである。	教職員(栄養職員、臨時的任用職員及び非常勤講師を除く)
	対象数 135人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
平成14年度採用者に対しトレーニングウェアを貸与(118着)するとともに、新任校長・教頭に対し防災用被服を貸与(17着)した。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	実施率(%)	事業実施数/事業予定数 ×100	被服貸与による福利厚生 の充実を数値化することは 困難であるため、事業その ものを指標とした。	12	13	14	15	16
				100	100	100	100	100
活動指標	貸与率(%)	貸与数/対象者数×100	事業の目的を果たすため には対象者に被服が貸与さ れていることが必要である。	100	100	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	1,310	1,770	1,914	19,738	1,538
人員・時間数	1人×30h/年	1人×30h/年	1人×30h/年	1人×60h/年	1人×30h/年
人件費	125	125	125	250	125
その他経費	0	0	0	0	0
合計	1,435	1,895	2,039	19,988	1,663
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	93	121	135	2,022	164
対象の単位あたり経費	15.4	15.7	15.1	9.9	10.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	限られた予算の中で対象者に被服を貸与することができた。また、貸与した被服は授業や学校行事において有効に活用されている。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 学校という勤務環境から活動的かつ多目的な用途を持つ被服は不可欠であり、貸与品であるトレーニングウェアは目的にかなっている。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	貸与した被服は授業や学校行事において着用されており、有効に活用されている。
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 平成10年度から損耗状態と予算の兼ね合いから貸与期間を3年から5年に延長した経緯があるが、貸与方法については更なる検討を行う必要がある。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	貸与後5年経過した者を貸与対象としている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 該当者に一律に被服貸与するのではなく、当面貸与が必要ない者については貸与期間を延長することにより、支出の抑制を図る。	手段	貸与延長制(スキップ制)を平成15年度貸与から導入する。
		削減額	千円

11 総合評価

評価 B ▼	他自治体の類似事業との比較	
	貸与期間を毎年や3年としている市がある一方で、貸与制度そのものを廃止した市もある。本市においても被服貸与制度について現行制度の見直しの時期に来ていると認識している。	
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 貸与品の単価引き下げの検討を行う。 貸与品の素材については地球環境に配慮したものとする。 予算削減のために貸与方法の見直しを実施する。 平成19年度廃止に向け検討を行なう。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input checked="" type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

廃止に向けた検討をする
-------------